

江戸・明治の出世双六 ～上りにたくす夢～ 展示リスト

平成 18 年 11 月 1 日 (水) ～11 月 6 日 (月)

東京学芸大学附属図書館

*	No.	資料名	よみがな	出版事項	
一、立身出世のさがし	1	大功記出世双六	たいこうきしゅっせすごろく	錦朝楼芳虎画 藤岡屋慶治郎版 49×73cm	
		「三州(さんしゅう)矢(や)矧(はぎの)橋(はし)」を振り出しとし、秀吉が天下を取って上りとなる双六。実名を出すのをはばかったか、秀吉は「猿(さる)之(の)助(すけ)」とされ、その他の人物も実在のものとは異なっている。			
	2	日吉丸出世の鑑	ひよしまるしゅっせのかがみ	松岡堂松岡利兵衛(金沢)・天摩堂池田伝兵衛(西京) 松栄堂梅村為助(大坂)版 51×73cm	
		「日吉丸誕生」を振り出しとし、秀吉が天下を取って上りとなる双六。1. と重なるマスが見られるが、人物名は実名となっている。当館所蔵資料は江戸時代のものを明治以降に再版したもの。			
	3	太閤記高名寿壽語録	たいこうきこうみょうすごろく	永島春暁画 森本順三郎版 47×35cm	
		「日吉(ひよし)丸(まる)出産(しゅつさん)の霊(れい)夢(む)」を振り出しとし、「伏(ふし)見(みの)大(おほ)地(ぢ)震(しん)」を上りとする双六。摺(す)りの状態は良いとはいえないが、遊びながら太閤記の名場面を楽しむことができる。			
	4	稚繪解武者雙録	おさなえときむしやすごろく	永島春暁画 森本順三郎版 47×72cm	
		「矢(や)矧(はぎの)橋(はし)」を振り出しとし、「殿(でん)下(が)醒(だい)翻(ご)の花(はな)見(み)」を上りとする双六。題名にはないが太閤記を題材としたもの。明治以降も秀吉の伝記物語は人気を集めていた。			
	5	武芸高名出世双六	ぶげいこうみょうしゅっせすごろく	五雲亭貞秀画 安政 4(1857)年 70×69cm	
		戦場での様々な戦略を集めた双六。「一番手乗り出し」を振り出しとし、「勝(かち)軍(いくさ)諸(しよ)士(し)恩賞(おんしやう)を賜(たま)はる(づ)」を上りとする。マスの見出しには模様として家紋が見えるが、特定の武将を示しているわけではない。			
	6	調練仕方出世寿語録	ちょうれんしかたしゅっせすごろく	一柳斎国孝画 慶応 2(1866)年 大黒屋金三郎版 48×70cm	
		幕末の幕府軍がフランス式の調練を受けている様子を描く双六。各マスは「さしづやく」「かしら(頭)をみぎ」「なをれ」など役回りや号令を表している。			

*	No.	資料名	よみがな	出版事項
二、出世双六に見る女性 ↳その1 江戸時代↳	7	新板娘庭訓出世雙六	しんばんむすめていきんしゅつ せすごろく	溪齋英泉画 和泉屋市兵衛版 49×64cm
		「おどり子娘」を振り出しとし、「万福(まんふく)長者(ちやうじや)極(ごく)楽(らく)隠居(ゐんきよ)」を上りとする双六。各マスには、「手習師匠」や「しうとめ」など、女性の様々な仕事や立場が示されている。		
	8	新板娘庭訓出世雙六	しんばんむすめていきんしゅつ せすごろく	金網屋版 34×49cm
		7. と同名の双六。全体のマス数や示された女性の仕事や立場等に違いが見られるが、上り「万福(まんふく)長者(ちやうじや)極(ごく)楽(らく)隠居(ゐんきよ)」や、同一名のマスの挿絵や言葉には共通性も見られる。		
	9	婦人一代出世双六	ふじんいちだいしゅつせすごろく	一鵬齋芳藤画 辻岡屋文助版 71×52cm
		女性の様々な仕事や立場をめぐり、上り「御(おん)奥(おく)様(さま)」を目指す双六。「奥様」は江戸語で旗本の正妻又は大名の奥方をいい、上りの挿絵の女性の隣には殿様が描かれている。		
	10	奥奉公出世双六	おくほうこうしゅつせすごろく	万亭応賀作 (歌川)豊国画 上州屋重蔵版 弘化(1844-47)頃 47×65cm
		武家に仕える女性の出世を題材とする双六。各マスには様々な奥仕えの身分や役職が示されている。双六の左下には、不始末のせいか暇を出され帰される「御暇(おいとま)」のマスもある。		
	11	新はんけん女みさを 双六	しんばんけんじょみさおすごろく	一梅齋芳晴画 辻岡屋 51×31cm
		「静(しずか)御前(ごぜん)」を振り出しとする双六。上りのマスには女性に敬われる女主人の様子が描かれる。各マスに配置された多くの賢女に見習って成長することを導く双六と見ることができる。		



*	No.	資料名	よみがな	出版事項
三、出世双六に見る女性 その2 明治・大正時代	12	令嬢成長双六	れいじょうせいちょうすごろく	大阪 大丸呉服店 明治 43(1910)年 56×66cm
		「出産」で振り出し、上りのお嫁入りまで女の子の成長を追って進む双六。大丸呉服店が出したもので、「春物売出」「冬もの売出」などのマスにとぼして進む指示があるのはご愛嬌。		
	13	日本女禮式雙六	にほんじょれいしきすごろく	東京 松野米次郎 明治 30(1897)年 72×79cm
		「女学校卒業の図」を振り出しとし、大人の女性が身につけるべき作法を描いたマスを進む双六。上りは、婚礼ではなく「慈善会の図」となっている。		
	14	女子家庭双六	じょしかていすごろく	牧金之助版 明治 31(1898)年 74×73cm
		下段中央の「衣服をあらたむるてい」を振り出しに、上段中央の「婚礼の式に望むてい」を上りとする双六。嫁入り前の上流階級の女子が身につけるべき教養や作法が 12 のマスに美しく描かれている。		
	15	教育女禮集	きょういくじょれいしゅう	牧金之助 明治 28(1895)年 1 帖 18cm
14. と同じ板元の出版物。美人画のような美しい絵を折本仕立てにし、絵と簡潔な文章で「吸物すひ様」から「新年の御礼」まで、各種の作法を教示している。				
16	新雙六淑女鑑	しんすごろくしゅくじょかがみ	間野秀俊作 小林清親画 明治 19(1886)年 山本松之助版 73×72cm	
	「無心(むしん)ノ女(じょ)児(じ)」を振り出しとし、「當世の淑女」を上りとする双六。将来の進路として、職業婦人の教員、新聞記者、医者など新しい女性の生き方も見られる。			
17	少女運だめし双六	しょうじょうんだめしすごろく	石黒露雄案 川上千里画 昭和 2(1927)年 55×80cm	
	中央の「学校時代」を振り出しとし、上りを「飛行家」「女医」などの職業から選んだ上で遊ぶ。途中には「実地研究」「練習」など必ず止まらなければならないマスがある。			

*	No.	資料名	よみがな	出版事項
四、発想のおもしろさ	18	男女振分諸禮駢形双六	だんじょふりわけしよれいしつ けがたすごろく	山城屋庄次郎版 49×38cm
		「振り出し見(み)合い」で見合いをし、「結納」「縁談」を経て「婚礼」で上る双六。振り出しと上りの間のマスは左右に分かれており、左半分に女性の、右半分に男性の職名や立場あるいは身につけるべき教養や作法が描かれている。		
	19	新板餅盡愛度双六	しんぱんもちづくしめでたいす ごろく	鶴亭秀賀作 一恵斎芳幾画 辻岡屋文助版 72×49cm
		「鐘(やり)餅(もち)振(ふり)出(だ)し」から上り「金(かね)餅(もち)」まで、〈もち〉の付く言葉を集めた双六。上りの挿絵の鉢植の文字など細かい所にも遊びがある。「あんころ餅(もち)」など絵との関係が不明なマスもある。		
	20	世界第一勉強家の親玉 大阪平民館発行教育双語六	せかいだいいちべんきょうかの おやだまおおさか へいみんか んはっこう きょういくすごろ く	榎本松之助作 耕雪画 榎本松之助版 71×54cm
		振り出しには本と双六を売る姿が描かれ、双六のマス全体を囲むように大阪平民館(書店)の宣伝文がある。基本は女性の出世双六だが「男女同権」、「慈善事業」など明治の世相を反映したマスもある。		
21	処世教訓漫画双六	しよせいきょうくんまんがすご ろく	谷脇素文作 大日本雄弁会講談社版 55×79cm	
	分岐点で正道・邪道に別れる双六。教訓にユーモラスな絵をつけてマスとしている。だじゃれ的なマスも。右の欄外に「遊び方」あり。裏面では、10人の画家の絵により12の教訓を紹介している。			

《参考文献》

『幕末・明治の絵双六』加藤康子, 松村倫子編著 国書刊行会, 2002.2

『双六(すごろく)』吉田修, 山本正勝文 文溪堂, 2004.3

『すごろく1・2』増川宏一著 法政大学出版局, 1995.7

『ビジュアル・ワイド江戸時代館』大石学, 小澤弘, 山本博文編集委員 小学館, 2002.12

